

栗国空港の拡張整備について

粟国空港の拡張整備について

1. 粟国島の概要

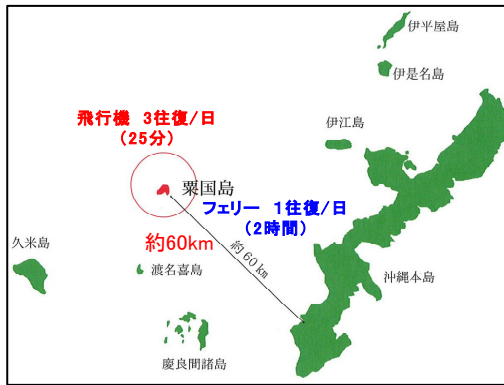
(1) 粟国島の位置

粟国島は、那覇市から北西に約 60km の洋上に位置し、周囲は約 12km、面積は 763ha である。粟国空港は、島の北東部に位置しています。

■ 粟国空港の位置



■ 粟国島の位置



(2) 粟国村の社会環境

人口は 853 人、世帯数は 470 世帯であり、70、80 歳代など、高齢者が多く居住している。

■ 人口・世帯数（人、世帯）

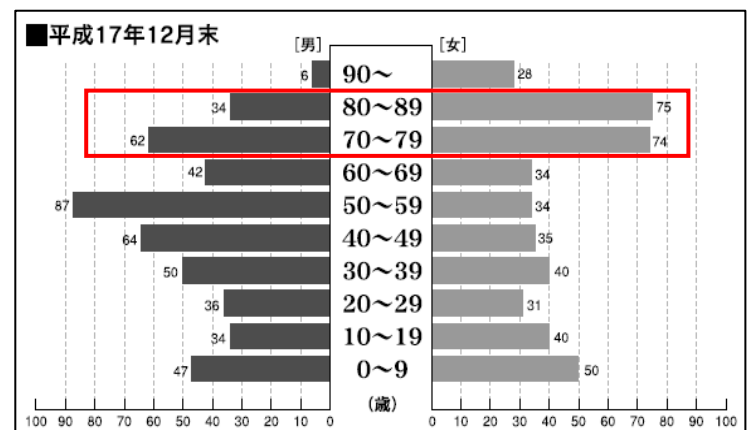
	H12 国調	H17 国調	H21 9月
人口	960	936	853
世帯数	475	414	470

■ 教育施設等（H19.5.1）

	施設数	人数
幼稚園	1	18
小学校	1	56
中学校	1	23
計	3	97

■ 年齢別人口数

（資料：粟国村勢要覧）



(3) 粟国島への交通手段

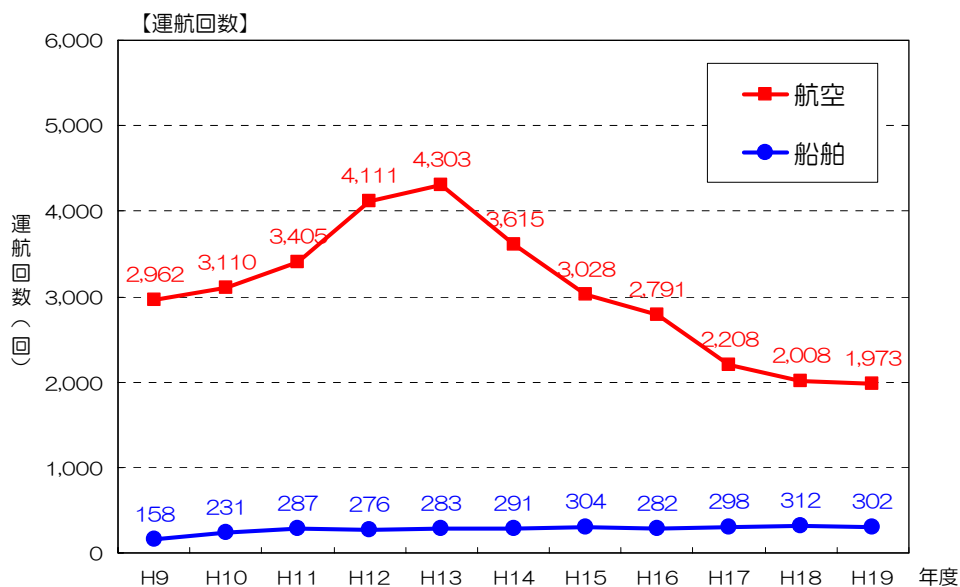
沖縄本島から粟国島への交通手段は、航空と船舶があり、交通手段を選択することができる。航空は1日3往復6便運航しており、所要時間は船舶の5分の1の速さで移動することができるなど、交通利便性が高い状況があります。

航空の年間運航回数は、近年減少傾向にあり、それに伴い旅客数も減少傾向している。

■ 航空・船舶の概要

交通手段	航空		船舶
運航区間	粟国空港－那覇空港		粟国港（粟国村）－泊港（那覇市）
運航会社	琉球エアコミューター（RAC）	第一航空	フェリー粟国（粟国村営）
運航機材	BN-2B（アイランダー）	BN-2B（アイランダー）	フェリー
運航便数	3往復6便／日（定期運航）	3往復6便／日（不定期運航）	1往復2便／日
定員	9人	9人	170人（最大）
所要時間	約25分	約25分	約2時間
運賃	約10,100円（平成21年3月時点）	約10,000円（平成21年8月時点）	約3,320円（平成21年8月時点）
写真	【BN-2B】 	【BN-2B】 	【フェリー粟国】 
備考	H21.6.18まで運航	H21.6.19より運航開始	—

■ 航空・船舶の運航状況

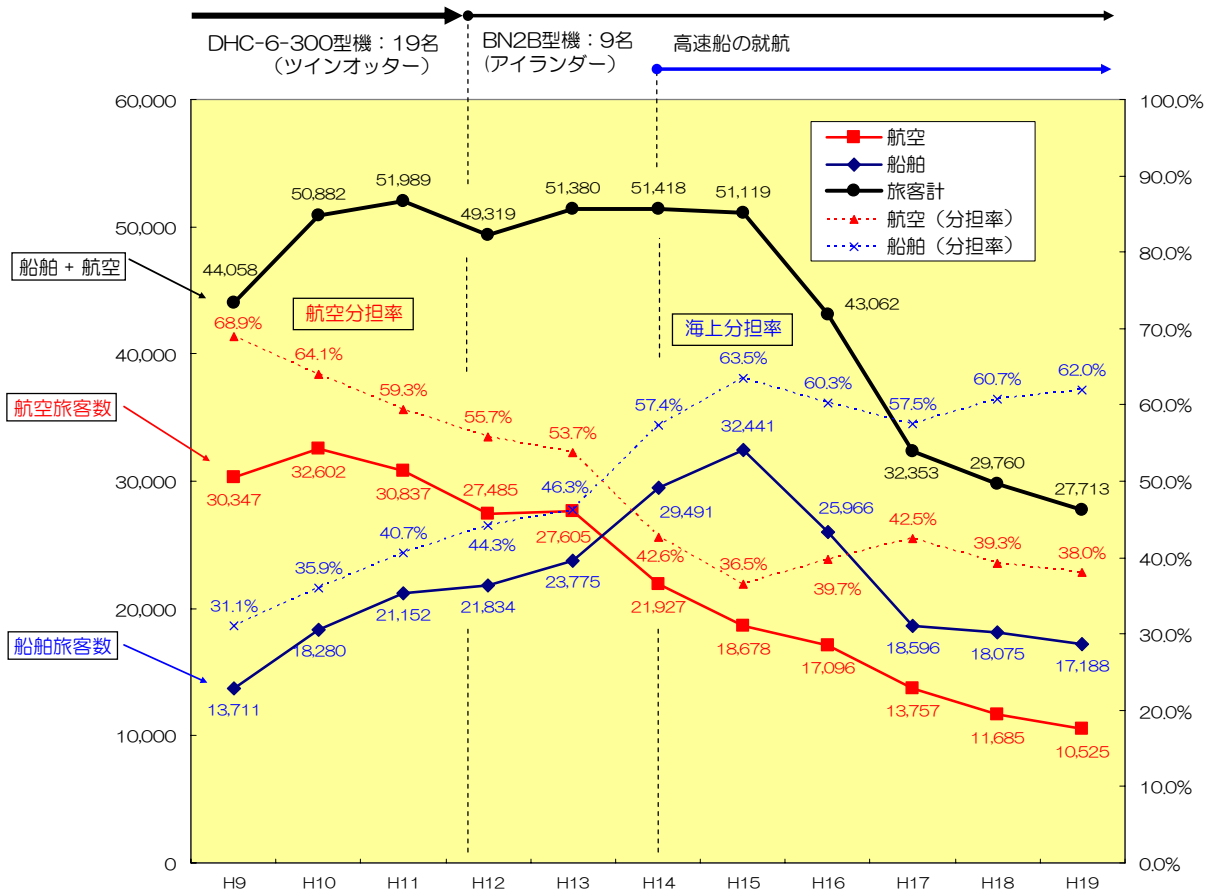


資料：【航空】空港の利用状況 【船舶】運輸要覧

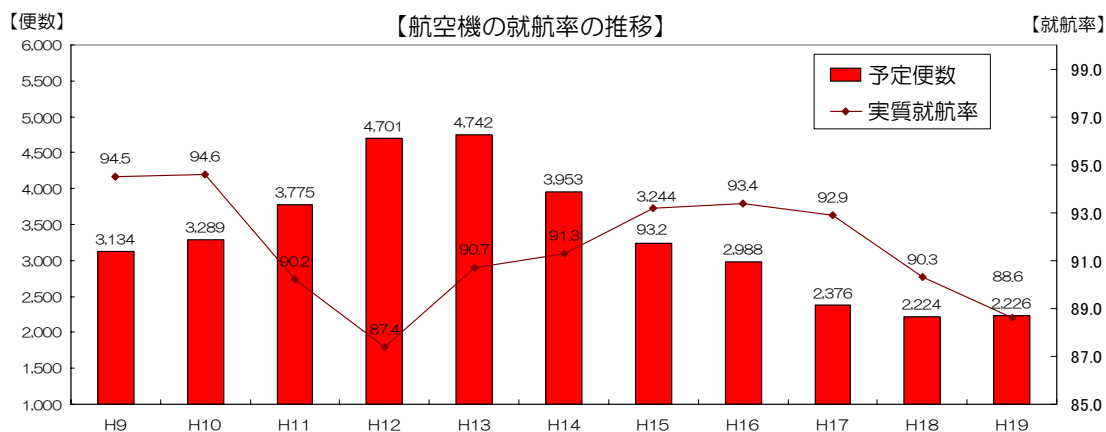
■ 航空・船舶の旅客数の推移

航空旅客数は、平成 11 年度から減少し、平成 12 年度からは航空の利便性低下（便数の減少など）に伴い、旅客が航空機から船舶にシフトしていったと見られます。

平成 16 年度以降は、全旅客流動が減少傾向にあり、船舶、航空ともに利用者が減少しています。



■ 航空・船舶の就航状況



単位：便数、%

路線	年間	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	備考
粟国空港	実質就航率	94.5	94.6	90.2	87.4	90.7	91.3	93.2	93.4	92.9	90.3	88.6	
	予定便数	3,134	3,289	3,775	4,701	4,742	3,953	3,244	2,988	2,376	2,224	2,226	
	欠航便数	172	179	370	590	439	338	216	197	168	216	253	
	就航機材	~DHC-6-300、BN2B		DHC-6~BN2B		BN2B~							
	座席数/機便数/日	19.9	19.9	19.9	9	9	9	9	9	9	9	9	
粟国港	船舶就航率	43.3	63.3	78.6	75.6	77.5	79.7	83.3	77.3	81.6	85.5	82.7	就航回数/365日
	就航回数	158	231	287	276	283	291	304	282	298	312	302	

2. 粟国空港の整備計画

(1) 粟国空港の現況

粟国空港は、昭和 53 年に開港し、滑走路 800m を有する離島空港である。
滑走路北側は海域に近接し、滑走路の南側は土地改良事業用地が分布している。

■ 粟国空港の概要

名称	粟国空港
種別	地方管理空港(旧第3種空港)
設置管理者	沖縄県
所在地	沖縄県島尻郡粟国村
開港年	昭和 53 年 7 月 6 日
滑走路長	800m×25m
面積	約 9ha
運用時間	8:00~18:00 (10 時間)
エプロン	小型機：2 スポット

■ 粟国空港の鳥瞰図



■ 沿革

- S51. 2.19： 粟国空港設置許可（滑走路長 800m）
 - S51. 3.26： 第三種空港に政令指定
 - S53. 7. 6： 供用開始 JTA による路線開設（DHC-6 型機、19 人乗り）
 - H 1.12.20： RAC による路線開設（BN-2 型機、9 人乗り）
 - H 4.11.16： JTA から RAC へ運航を引き継ぐ（DHC-6 型機運航開始）
 - H12. 8～： BN-2 型機のみ運航（DHC-6 型機は同年 7 月まで運航）
 - H21. 6.18： RAC が定期路線廃止し、第一航空(株)が不定期運航で継承
- 参考：第一航空

運航計画 6月～9月 2往復 4便/日
10月～ 3往復 6便/日

運航実績 6月～8月 搭乗率 52.3%（平均 5 名程度）
6月～8月 就航率 83.1%

■ 拡張整備の必要性について

粟国空港は、昭和 53 年に滑走路長 800m で供用開始し、以来、島民の生活を支え、地域振興を担う重要な役割を果たしている。

しかし、近年、平成 12 年度の DHC-6 型機の撤退や、平成 14 年度的那覇～粟国間の定期船舶の高速化等により、旅客数・貨物量とも減少している状況にある。

さらに、定期就航していた航空会社(RAC)は、採算性や安定就航の面から、滑走路拡張を前提として機材の大型化（DHC-8 型機 39 人乗り）を検討しており、パイロットの定年退職と相俟って、平成 21 年 6 月からは路線を一時運休することとなった。

平成 21 年 6 月以降、第一航空(株)により、不定期就航として航空路を維持・継承されているが、今後の利用状況によっては路線撤退などの可能性もあり不安定な航空路と言えます。

このような状況の中で、県としては粟国空港の拡張整備や安定的な航空路線の維持・確保は、離島振興と地域住民の生活安定を図る観点から重要であると考えています。

(2) 沖縄県の上位計画における拡張整備の位置づけ

粟国空港の拡張整備は、下記の3つの上位計画に位置づけられている。

計画策定年度が最も新しい「第3次沖縄県社会資本整備計画」においては、粟国空港に関して、離島路線の維持・確保を図るため、滑走路を800mから1,200mに延長する取組みを実施している。

【粟国空港拡張整備に関連する沖縄県の上位計画】

- | | |
|------------------|---------------|
| ○ 第3次沖縄県社会資本整備計画 | (平成20年 3月策定) |
| ○ 新沖縄県離島振興計画 | (平成14年 12月策定) |
| ○ 沖縄県総合交通体系計画 | (平成14年 3月策定) |

(3) 粟国空港整備に向けた課題

1) 空港整備の事業評価

事業の必要性、代替案の比較、計画の妥当性、実現性、効果等について基準に基づく事業評価を実施し、評価基準を満たすことが必要となる。

2) 空港計画の認知、合意形成

パブリック・インボルブメント（PI）手続きによる合意形成が必要となる。

3) 定期航空路の開設及び維持

航空路の路線の開設に向けた方策を検討し、実施する必要がある。

4) 事業採択後における円滑な空港建設のための取組み

事業採択後においては、空港建設が円滑に行われるため、地元関係団体と連携し、用地取得同意取り付け等の取組みを行う必要がある。

(4) 現在の取組み状況

■ 粟国村の取組み状況

- ・ 現在、「粟国空港拡張整備期成会」を中心に鋭意、同意取り付けを進めている。
- ・ 粟国村独特の短冊状にきめ細かく地積が分筆されていることや、所有者がお亡くなりになった後の財産相続などの手続きがなされていない土地が多いため、同意取り付けが必要な地権者数が非常に多くなっている。
- ・ 平成19年4月から大阪での説明会を皮切りに同意取り付けを開始し、平成21年8月末時点での同意取り付け状況は92%である。(904/986=92%)
- ・ 粟国村としては、早期に全員の同意取り付けができるよう、取り組んでいる。

【滑走路拡張1,200m(案)の地権者】

沖縄県、琉球政府、粟国村、個人
(51筆) (24筆) (38筆) (505筆)

個人(筆数505筆) 986名

健在者 178名

故人 146名

(内、140名については相続関係人808名)

(内、6名については未確定)

■整備計画の概要

	現空港の諸元	空港の拡張計画（案）
滑走路	800 m×25 m	1,200 m×30 m
面積	9 ha	28ha
運用時間	8:00～18:00	8:00～18:00
エプロン	小型機 2 バース	小型機 2 バース
設計荷重	LSA-2 (LA-5)	LA-4
照明施設	進入角指示灯 滑走路末端灯	進入角指示灯 滑走路末端灯
無線施設	NDB (無指向性無線標識施設)	RNAV 方式
就航機材	BN-2B 型 (通称：アイランダー) 9 人乗り 	DHC-8-Q103 (通称：ダッシュエイト) 39 人乗り  (想定機材)
飛行方式	有視界飛行方式 (VFR)	計器飛行方式 (IFR)

現在の栗国空港

【栗国空港】

標高 11.60 m
着陸帯 920m × 60m
滑走路 800m × 25m
誘導路 30m × 9m
エプロン 2,000m²
小型機用 2バース

